

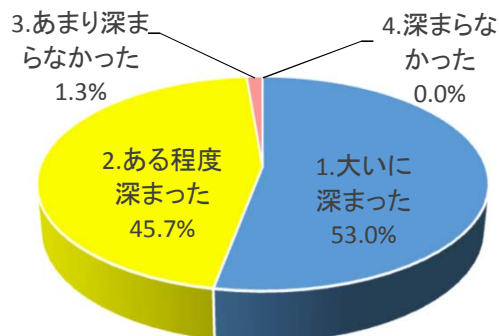
『大館市の歴史まちづくり』に関するアンケート 調査結果

平成29年3月18日 大館市歴史まちづくりシンポジウム

■回答総数 153人

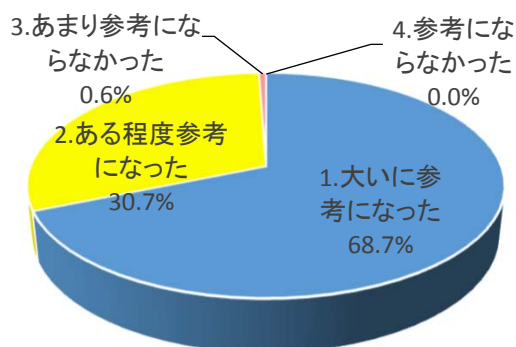
問1 今回のシンポジウムで、歴史まちづくりへの関心や理解が深まりましたか。

回答	人数(人)	割合(%)
1.大いに深まった	80	53.0%
2.ある程度深まった	69	45.7%
3.あまり深まらなかった	2	1.3%
4.深まらなかった	0	0.0%
無回答	2	-
計	153	100.0%



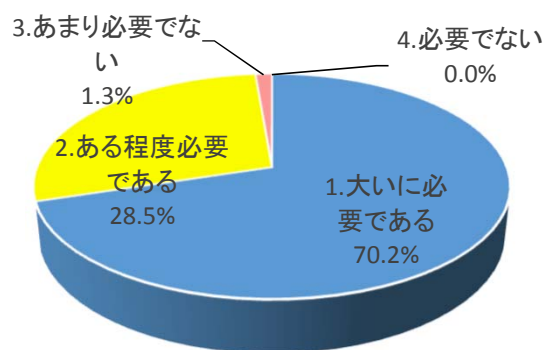
問2 ご紹介いただいた他市の歴史を活かしたまちづくりは参考になりましたか。

回答	人数(人)	割合(%)
1.大いに参考になった	103	68.7%
2.ある程度参考になった	46	30.7%
3.あまり参考にならなかった	1	0.6%
4.参考にならなかった	0	0.0%
無回答	3	-
計	153	100.0%



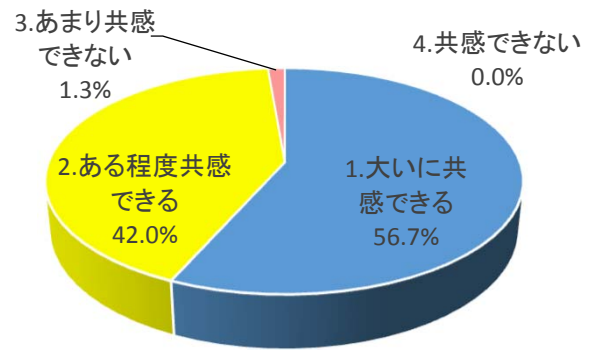
問3 他市と連携したまちづくりの必要性について、どう思われましたか。

回答	人数(人)	割合(%)
1.大いに必要である	106	70.2%
2.ある程度必要である	43	28.5%
3.あまり必要でない	2	1.3%
4.必要でない	0	0.0%
無回答	2	-
計	153	100.0%



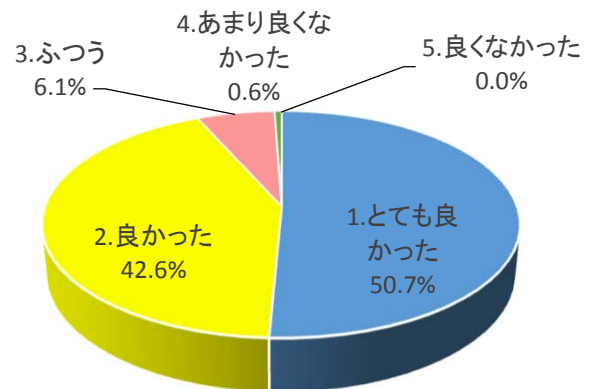
問4 大館市が取り組もうとしている「歴史まちづくり」について、どう思われましたか。

回答	人数(人)	割合(%)
1.大いに共感できる	85	56.7%
2.ある程度共感できる	63	42.0%
3.あまり共感できない	2	1.3%
4.共感できない	0	0.0%
無回答	3	-
計	153	100.0%



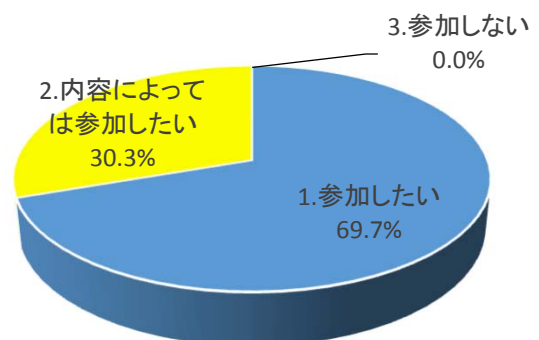
問5 今回のシンポジウム全体の内容はいかがでしたか。

回答	人数(人)	割合(%)
1.とても良かった	75	50.7%
2.良かった	63	42.6%
3.ふつう	9	6.1%
4.あまり良くなかった	1	0.6%
5.良くなかった	0	0.0%
無回答	5	-
計	153	100.0%



問6 今後も同様のシンポジウムなどを開催した場合、参加したいと思いますか。

回答	人数(人)	割合(%)
1.参加したい	106	69.7%
2.内容によっては参加したい	46	30.3%
3.参加しない	0	0.0%
無回答	1	-
計	153	100.0%



問7 今回のシンポジウムのご感想や、歴史まちづくりの取り組みへのご意見やご提案（集約）

① シンポジウムの内容について		
NO	意見数	ご意見やご提案
1	2	開会前に市内各所の写真をスライドしたが、どこの写真なのか見学した方以外には分からなかったので簡単な説明が必要ではないか。
2	7	ディスカッションの時間が限られていたうえ、参加者からの意見交換や質問できる機会がなかったのが残念であった。
3	7	今回の歴史まちづくりのように、市の取り組みを理解できる市民向けのシンポジウムを継続開催してほしい。
4	20	全国で進められている歴史まちづくりや他市のまちづくりの紹介が大変参考になって、とても有意義なシンポジウムだった。
5	7	市民参画の在り方や具体例などの話が聞きたかった。
6	3	他市事例の中、清野先生が大館の歴史や魅力を説明してくれてよかった。
7	3	他市と連携したまちづくりの必要性は共感できる。行政だけではなく、民間との連携も必要と思った。
8	2	担い手となる若者の参加者が少なかったのが残念であった。
9	1	限られた時間の中での、議員のメッセージ紹介などは、不要。
10	1	シンポジウムなどの開催時には、会場周辺に駐車場の確保をするべき。
11	1	受付から会場への案内に問題あり。

② 歴史まちづくりの取り組みについて		
NO	意見数	ご意見やご提案
1	4	歴史まちづくりは短期間の取り組みでは結果が出ませんので、長いスパンで一歩ずつ確実に進めてほしい。
2	4	歴史的建造物や文化財などの保全のみではなく、理解や関心が高まる活用をしっかりと検討する必要がある。
3	2	歴史まちづくりを進めるにあたり、一端を民間で担う機会や民間独自で取り組む支援制度を構築してほしい。
4	2	点在する歴史的資源が線につながるよう看板や案内板の設置を進めてほしい。
5	1	歴史的風致にある町割りが残る地区を中心にコンパクトシティを目指すべき。
6	6	歴史的な町なみを活かしたまちづくりで大館に観光客を呼び込む工夫をするべき。他市にない大館独自のスタイルで観光との連携が必要である。（秋田犬きりたんぼや大館曲げわっぱ、人形道祖神など）
7	4	市民が笑顔になれる、誇りに思えるまちづくりを進めてほしい
8	7	行政だけではなく市民が参画できる体制づくりを構築してほしい。また担い手となる若い世代の積極的な参加が必要であるため、教育との連携も必要である。
9	4	町なみ景観の保全に向けたまちづくりを進めるにあたり、無電柱化や桜の手入れなどを積極的に進めるべきである。
10	3	ハード整備だけではなく、人材育成などのソフト事業の充実も大事である。
11	1	旧正札竹村解体などの以前からの課題の整理
12	2	歴史的資源が少ない大館の歴史まちづくりは評価が難しいため、人員や予算の投入は無駄である。
13	2	市民の賛同をもとに優先順位を判断して事業を進めてほしい。